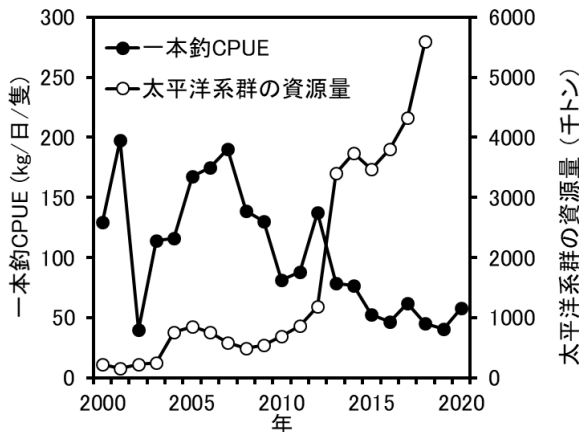


資源の動向 「低位・横ばい」



一本釣CPUE (kg/日/隻)と太平洋系群の資源量の推移

本県沿岸におけるマサバの資源量指標値（サバー一本釣漁船のCPUE）は、2008年以降減少傾向で、直近の2020年は低調であった前年を上回ったものの、依然として低い値である。一方で、マサバ太平洋系群の令和元年(2019年)度の国の評価では、資源動向は「増加」と判断されている。

資源量が増加しているにも関わらず、本県沿岸への来遊が少ない原因は、水温や海流、餌料をはじめとする環境要因、他魚種との競合なども考えられ、今後原因究明を行っていく。

対象漁業

- 定置網漁業
- 一本釣漁業



生物学的特性

- 分布: 日本列島周辺
- 移動: 春に伊豆諸島海域で産卵し、夏～秋には三陸～道東沖へ移動する
神奈川県沿岸(相模湾、東京湾)で漁獲されるマサバは親魚が主体
- 成長: 尾叉長は2歳で30cm前後、5歳で39cm前後(寿命は7～8歳)
- 産卵期等: 1～6月(盛期は3～6月)

